

◎ 事業報告

<実績の概要>

犯罪被害者等への支援活動は、電話（メール・LINEを含む。）・面接による相談及び関係機関への付き添いなどの直接的支援事業を引き続き実施しました。

また、性暴力被害者の緊急避妊等に係る医療措置については、内閣府設置によるコールセンターと連携して夜間・休日を含む24時間の支援体制を継続しているところであります。

令和6年度のセンター全体の電話等相談「延べ件数」は773件（5年度769件）、このうち性暴力被害に係る「サポートながさき」の電話等相談は635件（5年度637件）で、令和5年度と同程度でありました。

一方、警察署への被害届や弁護士法律相談等において、センター職員が付き添う「直接的支援事業」はセンター全体で116件（5年度65件）、このうち性暴力被害は87件（5年度48件）で、性暴力被害者への直接支援が大きく増加しております。したがって、相談・直接的支援事業は、センター全体で958件（5年度889件）、このうち「サポートながさき」は、771件で、平成28年の開設以来、最多の相談・支援件数となりました。

広報啓発活動ではありますが、誰にも相談できない被害者は数多く、センターの認知度向上とともに、具体的な支援活動の広報は極めて重要であると考えております。

特に、中学・高校生等に向けて「サポートながさき」の周知を図るため、相談専用

電話番号等を記載した携帯カード約 80,000 枚を、県内の国公立・私立の中学・高校及び特別支援学校の計 295 校の全生徒に配布いたしました。

この他、被害者支援に係る広報として NBC ラジオや県営バス車内放送、長崎運転免許センターにおける広報活動を昨年度に引き続き行いました。

また、被害者の心情等についての理解の浸透を図るため、中学校・高校を対象とした巡回学校講演事業につきましては、10 校・約 2,400 名の聴講をいただきました。

今回は、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの事業報告と決算等についてのご審議をいただくものであります。

具体的な事業実績等は、次のとおりとなっています。

令和6年度 事業実施状況報告書

I 事業実績

1 電話・面接相談、直接的支援に関する事業(実件数)

事業実績の区分等は、「(公社)全国犯罪被害者支援ネットワーク」活動集計要領による。

	電話等相談等件数				面接相談件数 ②	相談事業計 ①+②	直接支援件数 ③	電話～直接計 ①～③	警察情報 提供数	相談者等の居住市町・件数 ①～③
	電話	メール	LINE	手紙						
R6	受430 発269	受22 発2	受15	受1	68	807	115	922	51	長崎市307、佐世保市100、島原市52、諫早市143、大村市47、平戸市18、松浦市2、対馬市5、西海市1、雲仙市63、南島原市12、長与町12、時津町15、東彼杵町4、川棚町56、小値賀町11、佐々町4 県内31、 県外29、 不明10 (計922)
	699	24	15	1						
R5	受490 発219	受7	受18	発1	51	786	64	850	31	長崎市350、佐世保市153、島原市36、諫早市78、大村市42、平戸市6、松浦市27、対馬市4、西海市10、雲仙市6、南島原市24、長与町9、時津町11、東彼杵町9、川棚町6、波佐見町9、新上五島町1、 県内24、 県外31、 不明14 (計850)
	709	7	18	1						
増減	受-60 発50	受15 発2	受-3 発0	受1 発-1	17	21	51	72	20	
	-10	17	-3	0						

注)「受」:センターの相談受理、「発」:センターから相談者等への発信

○上記事業のうち性暴力被害者支援【サポートながさき】

	電話等相談等件数				面接相談件数 ②	相談事業計 ①+②	直接支援件数 ③	電話～直接計 ①～③	警察情報 提供数	相談者等の居住市町・件数 ①～③
	電話	メール	LINE	手紙						
R6	受369 発203	受18 発2	受15	受1	48	656	86	742	31	長崎市271、佐世保市39、島原市47、諫早市128、大村市28、平戸市18、対馬市5、西海市1、雲仙市60、南島原市12 長与町8、時津町1、東彼杵町3、川棚町51、小値賀町11 県内27、県外23、不明9 (計742)
	572	20	15	1						
R5	受433 発160	受4	受18	発1	32	648	47	695	13	長崎市286、佐世保市114、島原市33、諫早市73、大村市32、平戸市5、松浦市15、対馬市4、西海市9、雲仙市6、南島原市22、長与町7、時津町9、東彼杵町6、川棚町6、波佐見町9、新上五島町1、 県内21、県外25、不明12 (計695)
	593	4	18	1						
増減	受-64 発43	受14 発0	受-3 発0	受1 発-1	16	8	39	47	18	
	-21	16	-3	0						

2 個別事業の状況

ア) 電話・面接相談、直接的支援に関する事業

	電話等相談		面接相談		(電話等・面接計)		直接的支援		合計	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
R6	739	773	68	69	807	842	115	116	922	958
R5	735	769	51	55	786	824	64	65	850	889
増減	4	4	17	14	21	18	51	51	72	69
R6一般犯罪	131件(12)	138件(6)	20件(1)	20件(1)	151件(13)	158件(7)	29件(12)	29件(12)	180件(25)	187件(19)
R6性暴力	608件(-8)	635件(-2)	48件(16)	49件(13)	656件(8)	684件(11)	86件(39)	87件(39)	742件(47)	771件(50)
性暴力比率	82.3%	82.1%	70.6%	71.0%	81.3%	81.2%	74.8%	75.0%	80.5%	80.5%

「電話等」はメール、LINE、手紙を含む。 (): R6とR5の増減

注)①電話等「実件数」:相談者からのセンター受理件数の累計。「延べ件数」:(例)1通話中における相談者への「他機関紹介」等はプラス1件し、計2件を計上。面接相談も同様。

②直接的支援:1回の同行支援は「実件数1」で「延べ件数1」。1回の同行で複数の同行先は、「実件数1」で「延べ件数」は同行先の合計件数。

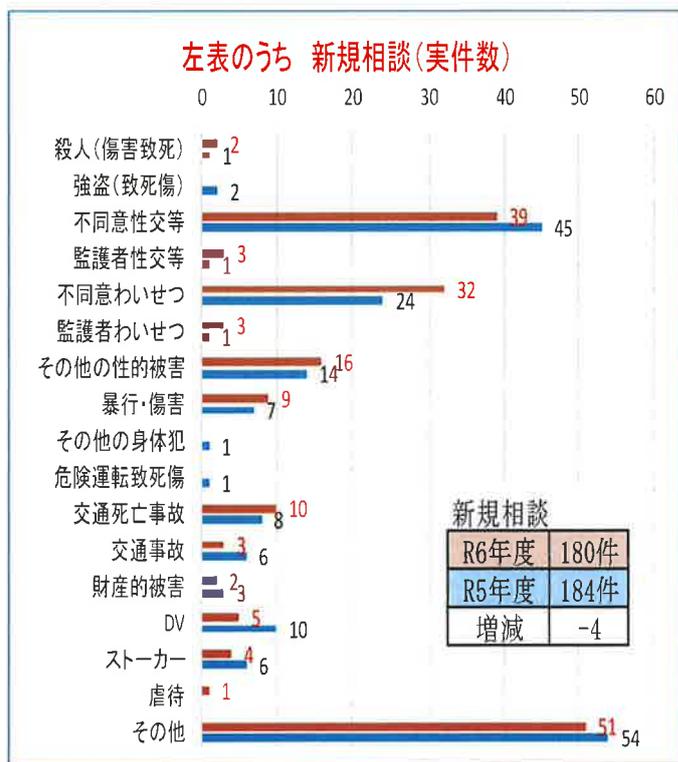
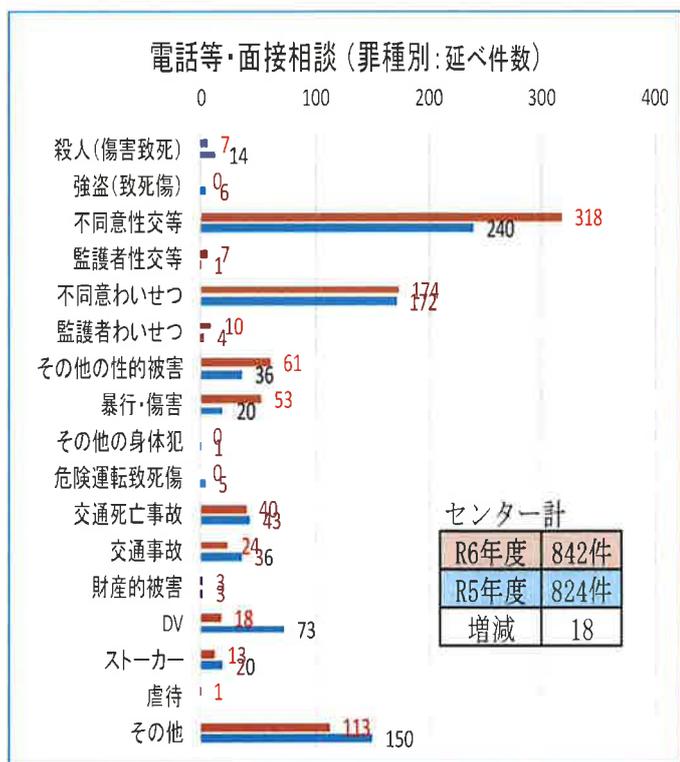
上記のうち【サポートながさき】

	電話等相談		面接相談		(電話等・面接計)		直接的支援		合計	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
R6	608	635	48	49	656	684	86	87	742	771
R5	616	637	32	36	648	673	47	48	695	721
増減	-8	-2	16	13	8	11	39	39	47	50
R6/R5対比	98.7%	99.7%	150.0%	136.1%	101.2%	101.6%	183.0%	181.3%	106.8%	106.9%
R6各対応比率	81.9%	82.4%	6.5%	6.4%	88.4%	88.7%	11.6%	11.3%		

イ) 電話等・面接相談の犯罪区分 (延べ件数)

相談活動関係 (電話等・面接相談)	R6年度				R5年度				増減			
	電話等	面接	計	うち 性暴力	電話等	面接	計	うち 性暴力	電話等	面接	計	うち 性暴力
1 殺人(傷害致死)	6	1	7		13	1	14		-7		-7	
2 強盗(致死傷)					4	2	6		-4	-2	-6	
3 不同意性交等	299	19	318	318	228	12	240	240	71	7	78	78
4 監護者性交等	6	1	7	7	1		1	1	5	1	6	6
5 不同意わいせつ	155	19	174	174	162	10	172	172	-7	9	2	2
6 監護者わいせつ	10		10	10	2	2	4	4	8	-2	6	6
7 その他の性的被害	52	9	61	61	35	1	36	36	17	8	25	25
8 暴行・傷害	46	7	53		17	3	20		29	4	33	
9 その他の身体犯					1		1		-1		-1	
小計	574	56	630	570	463	31	494	453	111	25	136	117
10 危険運転致死傷					5		5		-5		-5	
11 交通死亡事故	33	7	40		36	7	43		-3		-3	
12 交通事故	21	3	24		32	4	36		-11	-1	-12	
小計	54	10	64		73	11	84		-19	-1	-20	
13 財産的被害	3		3		3		3					
14 DV	18		18	18	66	7	73	73	-48	-7	-55	-55
15 ストーカー	13		13	13	19	1	20	18	-6	-1	-7	-5
16 虐待	1		1	1					1		1	1
13~16小計	35		35	32	88	8	96	91	-53	-8	-61	-59
17 死亡・自殺												
18 災害被害												
19 その他	110	3	113	82	145	5	150	129	-35	-2	-37	-47
小計	110	3	113	82	145	5	150	129	-35	-2	-37	-47
合計	773	69	842	684	769	55	824	673	4	14	18	11
うち性暴力被害	635	49	684		637	36	673		-2	13	11	
性暴力被害/合計 %	82.2%	71.0%	81.2%		82.8%	65.5%	81.7%					

R5年刑法改正前の強制性交等罪、強制わいせつ罪⇒不同意性交等罪、不同意わいせつ罪に集約



ウ) 直接的支援に関する事業

	件数	延べ件数	支援内容
R6	115	116	警察関連8、裁判関連46、 弁護士法律相談付添47、行政窓口付添1、病院付添7、 カウンセリング付添2、自宅訪問1、その他4 (計116)
R5	64	65	警察関連5、裁判関連13、検察庁関連2、弁護士法律相談付添36、行政窓口付添1、病院付添2、 カウンセリング付添3、自宅訪問2、生活支援1 (計65)
増減	51	51	

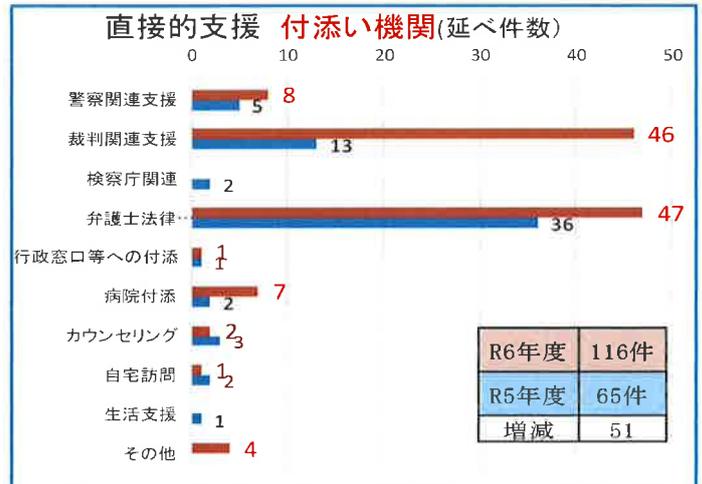
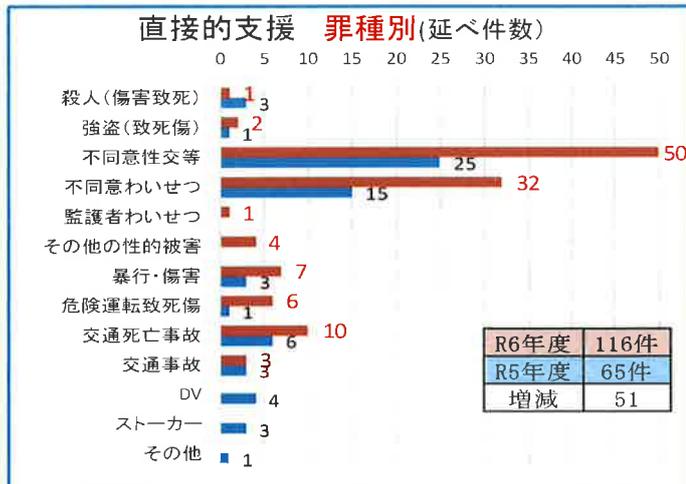
○ 上記事業のうち性暴力被害者支援【サポートながさき】

	件数	延べ件数	支援内容
R6	86	87	警察関連8、裁判関連36、 弁護士法律相談付添30、行政窓口付添1、病院付添7 カウンセリング付添2、その他3 (計87)
R5	47	48	警察関連5、裁判関連12、検察庁関連2、弁護士法律相談付添22、行政窓口付添1、病院付添2 カウンセリング付添3、生活支援1 (計48)
増減	39	39	
R6性暴力	性暴力75%	性暴力75%	

○ 直接的支援事業の区分

直接的支援関係 (延べ件数)	R6年度										R5年度		R6/R5 対比		
	警察関連 支援	裁判関連 支援	検察庁関連 支援	弁護士法律 相談付添	行政窓口等へ の付添	病院付添	カウンセリング 付添	自宅訪問	その他	合計	うち 性暴力	合計	うち 性暴力	増減	うち 性暴力
1 殺人(傷害致死)							1			1		3		-2	
2 強盗(致死傷)		2								2		1		1	
3 不同意性交等	6	22		14		7			1	50	50	25	25	25	25
4 監護者性交等															
5 不同意わいせつ	1	14		15	1				1	32	32	15	15	17	17
6 監護者わいせつ							1			1	1			1	1
7 その他の性的被害	1			1			1		1	4	4			4	4
8 暴行・傷害				7						7		3		4	
9 その他の身体犯															
小計	8	38		37	1	7	2	1	3	97	87	47	40	50	47
10 危険運転致死傷		6								6		1		5	
11 交通死亡事故		2		7					1	10		6		4	
12 交通事故				3						3		3			
小計		8		10					1	19		10		9	
13 財産的被害															
14 DV											1	4	-4	-4	
15 ストーカー											3	3	-3	-3	
16 虐待															
17 その他											1	1	-1	-1	
14~17小計											8	8	-8	-8	
合計	8	46		47	1	7	2	1	4	116	87	65	48	51	39
うち性暴力被害	8	36		30	1	7	2		3	87		48		39	
性暴力被害/合計%	100%	78.3%		63.8%	100%	100%	100%		1	75.0%		73.8%			

R5年刑法改正前の強制性交等罪、強制わいせつ罪⇒不同意性交等罪、不同意わいせつ罪に集約



3 自助組織に対する支援に関する事業

センターが開催している被害者遺族等の集い(あじさい) 長崎4回、佐世保4回(延べ12名参加)

4 広報啓発活動に関する事業

ア) 一般広報活動

活動内容	開催日等	対象 (開催場所等)	
普及宣伝活動など	4月・10月	中学・高校・教育委員会への学校巡回講演事業の募集案内を送付	
	4月	R6年度被害者支援員養成講座(22期)募集掲載 ①県内全世帯広報誌「つたえる県ながさき4月号」 ②FMながさき「とどける県ながさき」4/1の週 ③長崎新聞「県からのお知らせ」4/4	
	4月18日	時津警察署防犯キャンペーンへの参加広報(イオン長崎時津店) 300名参加 幟旗、看板掲示、広報グッズ配布	
	5月～11月	県警音楽隊コンサートへの参加広報(パネル等展示、広報グッズ配布) ①5/31 イオン長崎時津店 300名参加 ②9/4 長崎駅かもめ広場 200名参加 ③11/19長崎駅かもめ広場 300名参加	
	11月24日	「犯罪被害者等支援講演会」(セントヒル長崎) (主催 長崎県警察、センター、長崎県)・基調講演(被害者遺族:米村 州弘) 122名参加 パネル、掲示版・幟旗掲示、広報グッズ配付	
	1月	R7年度被害者支援員養成講座(23期)の受講生募集掲載依頼 (県・市町広報誌)	
	3月	R7年度被害者支援員養成講座(23期)募集掲載 ①FMながさき「とどける県ながさき」3/24の週 ②長崎新聞「県からのお知らせ」3/27	
ラジオ、新聞等利用 による広報啓発活動	4月	①センター活動紹介・賛助金募集 (NBCラジオ番組スポット広報:4/1～3/31 週2回 104回/年)	
		②センター活動紹介(県営バス車内放送4/1～3/31)長崎・諫早・大村地区の運行車両 放送回数2,800回/日	
		③センター被害者支援紹介画像3枚掲示(一般犯罪・性暴力) (県運転免許センターデジタルサイネージ2箇所:4/1～3/31)	
	10月	犯罪被害者等支援講演会(11/24)の参加者募集 「犯罪被害者等講演会」のWeb申込(専用フォーム)をセンターHP掲載 10/1～31	
		犯罪被害者等支援講演会(11/24)の参加者募集 ①県庁内ポータルサイト掲示10/1～10/31 ②FMラジオ(FMながさき「とどける県ながさき」)10/21の週 ④長崎新聞(県からのお知らせ)10/24	
		<サポートながさき広報>	
		通年	サポートながさき相談窓口の紹介 デジタルサイネージ掲示(県庁1階)年間複数回
4月	サポートながさき活動紹介 ①県庁ポータルサイト掲示4/15 ②長崎新聞「県からのお知らせ」4/18 ③FMラジオ(FMながさき「とどける県ながさき」)4/29		
3月	サポートながさき活動紹介 県内全世帯広報誌「つたえる県ながさき3月号」		
広報誌・チラシ等作製	4月及び10月	広報誌「あじさい支援だより」(各1400部)	
	9月	犯罪被害者等支援講演会(11/24) チラシ500枚作成	
	<サポートながさき関係>		
	7月	性暴力被害者支援の紹介の携帯カード配布(新規デザイン83,000枚作成) (国公立・私立の中学、高校、特別支援学校 計295(校・分校・分教室) 全生徒へ配布79,450枚)	
	9月	性暴力被害者支援の紹介(三つ折りリーフ)3,000部作成	
募金箱・自動販売機設置	通年	①募金箱設置活動(3/31現在 77箱 設置)	
		②寄付型自動販売機設置活動(3/31現在 73台 設置)、センターHP掲載	
ホンデリング事業	通年	平成27年8月～(県内23警察署に回収箱設置)、センターHP掲載	
「イオン」レシートキャンペーン	通年	平成29年4月～(長崎市「イオン長崎店」)、センターHP掲載	

イ) 犯罪被害者等講演事業 (学校巡回講演等)

① 学校講演

実施校数	内 訳		開催地 市町	R5実績			
中学校 6 (公立6)	生徒	1,385名	長崎市2、佐世保市1、松浦市2、南島原市1、 4市	中学校 7 (公立7)	生徒	1,039名	長崎市1 佐世保市3 諫早市1 松浦市2 対馬市1 雲仙市1 (計6市)
	教師等	141名			教師等	195名	
	計	1,526名			計	1,234名	
高等学校 4 (公立3)	生徒	823名	長崎市2、諫早市1、五島市1 3市	高等学校 2 (公立2)	生徒	1,137名	
	教師	94名			教師	70名	
	計	917名			計	1,207名	
計 10校 (公立9)	生徒	2,208名	長崎市4、佐世保市1、諫早市1、松浦市2、 五島市1、南島原市1 6市	計 9校 (公立9)	生徒	2,176名	
	教師等	235名			教師等	265名	
	合計	2,443名			合計	2,441名	

② その他の講演等

講話等	講演等 内容	回数	聴講者数	R5実績	
	市町犯罪被害者等支援連絡協議会(センター活動) 純心大学講義(医療と犯罪被害者支援) 佐世保地区ネットワーク会議(センター活動)ほか	4回	231名	8回	394名
	警察学校講義	3回	63名	3回	90名
	合 計	7回	294名	11回	484名

5 相談員等の養成及び研修に関する事業

ア) 支援ボランティア養成講座 (22期生) 受講生14名

	講 座	開催期間:R6年6月～11月(12回:月2回 第2・4土曜日) : 修了 11月30日
講義内容	22科目	法律、社会福祉、更生保護、関係機関の支援制度、ロールプレイング等
講師人員	19名	弁護士、県警支援室長、県警少年課サポートセンター長、長崎県職員、保護観察所職員、 長崎地検検察官、長崎地裁職員、法テラス長崎事務所職員、臨床心理士、センター職員等

受講生13名をセンター被害者支援員(ボランティア)に委嘱

イ) 相談員等研修関係

	開催日	研修会等の内容	開催場所	参加者
				センター職員
研修会等	(全国被害者支援ネットワーク開催) 3回			計 延べ 3名
	7月5日 ～6日	自助グループファシリテータ育成研修	東京都	1名
	12月6日 ～7日	支援活動責任者研修	東京都	1名
	2月8日 ～9日	質の向上研修下半期九州・沖縄ブロック研修会	大分県	1名
	(その他) 15回			計 延べ 40名
	6月3日	県弁護士会犯罪被害者等特別委員会との勉強会	県弁護士会館	5名
	7月10日	性犯罪・性暴力被害者支援のための連絡会(内閣府)	Web受講	3名
	9月9日	県弁護士会研修会	Web受講	5名
	9月28日 ～29日	性暴力救援センター全国連絡会全国研修会	Web受講	2名
	10月7日	交通事故被害者サポート事業「自助グループ運営・連絡会議」(警察庁)	Web受講	1名
	12月10日	県弁護士会犯罪被害者等特別委員会との勉強会	県弁護士会館	5名
	2月3日	性暴力被害者支援に係る医療機関研修会 (県交通・地域安全課・県産婦人科医会)	県庁会議室 オンライン併用	4名
	2月4日	「性暴力被害者等支援体制整備促進事業」相談員 研修(内閣府)	Web受講	2名
	2月8日	九州・沖縄ブロック支援活動責任者交流会(大分センター)	大分県	1名
	2月28日	「性犯罪被害者等支援体制整備促進事業」 センター長・コーディネーター及び行政職員研修(内閣府)	Web受講	2名
	2月28日	ワンストップ支援センター全国ネットワーク会議(内閣府)	Web受講	1名
	3月4日	犯罪被害者支援研修会(県弁護士会)	Web受講	5名
	3月4日	公益法人の運営等に関する研修会(新法) 県総務文書課	県庁会議室	1名
	3月12日	公益法人の運営等に関する研修会(旧法) 県総務文書課	県庁会議室	1名
	3月21日	「性犯罪・性暴力被害者支援のための医療関係者向け 研修」(内閣府)	Web受講	2名
合計			合計 18回	合計 延べ 43名
継続研修	ボランティア支援員の継続研修 8回開催(5月～3月)	R5センター活動状況説明、被害者電話の 特性、裁判傍聴、刑法改正説明、 ロールプレイ、相談事例紹介、殺人事件 被害者への支援紹介		延べ41名

令和6年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書(事業報告の内容を補足する重要な事項)がないので作成しない。